



## 静岡産科婦人科学会雑誌 1巻1号 投稿方法

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 静岡産科婦人科学会 公開日: 2015-01-05 キーワード (Ja): 投稿規定, 電子ジャーナル用テンプレート, 投稿時同封書類 キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10271/2633">http://hdl.handle.net/10271/2633</a>

## 静岡産科婦人科学会雑誌への投稿方法

- 1) 投稿規定
- 2) 電子ジャーナル用テンプレート
- 3) 投稿時同封書類

を

<http://jaog-siz.org/magazine/magazine.php>

からダウンロードして、投稿原稿を作成してください。

### 原稿送付先

〒431-3192 浜松市東区半田山 1-20-1  
浜松医科大学 産科婦人科学教室内  
静岡産科婦人科学会雑誌編集部 宛

## 静岡産科婦人科学会雑誌投稿規程

平成 24 年 6 月 10 日改定

### 投稿資格

本誌への投稿は静岡産科婦人科学会会員に限る。

ただし、著者が非会員（医師に限る）または研修医（医師法第 16 条の 2 第 1 項に規定する臨床研修を受けている医師）の場合、共著者に静岡産科婦人科学会会員を含むときにはこの限りでない。

### 投稿内容と採否及び著作権の帰属

1. 論文の種類は総説、原著（臨床研究、基礎研究、症例報告）、その他とし、未発表のものに限る。静岡県産婦人科医会および静岡産科婦人科学会が主催する学術集会、研究会で発表された講演内容を優先的に採択する。この場合、本文の末尾に“本論文の内容は平成〇〇年度静岡産科婦人科学会秋期学術集会で発表した”の如く記述すること。
2. 論文の採否は静岡産科婦人科学会会長より委嘱された査読者の意見を参考にして編集委員会において決定する。また原稿は編集方針に従って加筆、削除、修正などを求めることがある。
3. 投稿論文の著作権は静岡産科婦人科学会に委譲するものとする。
  - 1) 投稿の際には、静岡県産婦人科医会ホームページ (<http://jaog-siz.org/>) より Microsoft Word で作成した「投稿ホーム」をダウンロードして使用する。ダウンロードできない場合には、静岡産科婦人科学会本部（054-245-0134）に連絡する。
  - 2) 使用 OS は Windows XP、Vista、Windows 7 のみとし、使用するワープロソフトは Microsoft Word のみとする。フォントは原則として MS 明朝 10.5 ポイントを使用する。
  - 3) チェックリスト、原稿およびコピー 2 部（合計 3 部）をそれぞれクリップでとめ投函する。著作権に関する届出書ならびに本学会の利益相反に関する指針に従い自己申告書を添付する。初回投稿あるいは査読後の指示による再投稿の際には電子媒体の同封は必要ない。
  - 4) 論文が受理 (accept) された場合は、CD-ROM などの電子媒体に受理された最終論文のファイルを保存して事務局に送付する（電子媒体に筆頭著者名、使用した OS ならびにソフトの名前を記載する）。

### 原稿作成要領

1. 原稿は日本語とする。横書きとし原則として常用漢字を用いる。学術用語

は日本医学会の所定に従い、英語つづりは米国式とする。

2. 論文の 1 頁目は表題、所属、著者名（それぞれ英文も併記、姓名は Taro YAMAKAWA のようにローマ字を併記する）を記載する。概要、(400 字以内)、5 つ以内の Key words (英語) を記載する (Medical Subject Headings (MeSH, Index Medicus <http://www.nlm.nih.gov/msh/MBrowser.html> に準拠する)。臨床研究、基礎研究の原著論文は原則として、緒言、方法、成績、考案、結論、参考文献の順に記載する。症例報告の場合は、緒言、症例、考察、結論、参考文献の順に記載する。統計解析を行った場合は、統計処理法を必ず明記する。但し原著以外の論文の記載様式はこの限りではない。
3. 本文中の引用部位の右肩には文献番号 <sup>1), 2)</sup> を付け、本文の終わりに本文に示した順に羅列する。文献は研究に直接関係するものにとどめ以下の記載法に従うこと。なお、本邦の雑誌名は各雑誌により決められている略称を用い、欧文誌は Index Medicus に準ずる。なお、著者名を記載する場合、3 名以上の際には山田泰司, 他. Harris D, et al. と略す。
  1. Insigna RP, Glass AG, Rush BB. The health care costs of cervical human papillomavirus-related disease. *Am J Obstet Gynecol* 2004 ; 191 : 114-120
  2. Gielchinsky Y, Mankuta D, Rojansky N, et al. Perinatal outcome of pregnancies complicated by placenta accreta. *Obstet Gynecol* 2004 ; 104 : 527-536
  3. 金澤浩二, 前濱俊之, 長井裕, 他. 頸がん と HPV 感染. *産婦治療* 2004 ; 89 : 285-291
  4. 由良茂夫, 佐川典正, 吉田幸洋, 他. 胎児発育の分子機構. 中野仁雄編集 新女性医学大系 29 : 胎児の成長・発達 東京:中山書店, 2002 ; 125-141
4. 個人情報の取扱いは個人情報保護法を遵守すること。症例報告においては患者のプライバシー保護の面から個人が特定されないよう、氏名、生年月日、来院日、手術日等の記載しないこと。とくに画像診断の写真の個人が特定される情報は消去することに注意する。臨床研究や治験等に関する論文はインフォームド・コンセントを得たことや、倫理委員会・臨床受託研究審査委員会の承認を得た研究であることを明記すること。
5. 論文の長さは特に制限はない。外国の人名および薬品名は必ず原語（一般

名)を用いる。度量衡は km, m, cm, mm,  $\mu$ , m $\mu$ , l, dl, ml (cc でなく), kg, g, mg,  $\gamma$ , mEq/l, mg/dl などを用い、数字は算用数字とする。

6. 図表(カラーも可)は本文中のカラム(各頁2列)内におさまるように適宜挿入すし、各々「図1」、「表1」などと原則として図表の下段に明記する(編集の都合により適宜場所を変更することもある)。すでに刊行されている雑誌や著者から図表を引用する場合には、著作権を有する出版社あるいは学会、著者などから書面にて了承を得た上、図表に文献の記載順序に従って出典を明らかにする。画像データは仕上がり寸法で解像度 350pixel/inch を目安に作成すること。

### 校 正

論文受理(accept)後に著者より事務局に送られた電子媒体による最終原稿を著者校正されたものとみなす。ただし組版面積に影響を及ぼすような改変は認めない。

### 投稿・掲載料

投稿料、掲載料は無料とする。

### 別 刷

別冊は当面の間作成しない。

### 原稿送付先

〒431-3192 浜松市東区半田山 1-20-1  
浜松医科大学 産科婦人科学教室内  
静岡産科婦人科学会雑誌編集部 宛

# 産期心筋症の 1 例

## A case of perpartum cardiomyopathy

浜松医科大学産婦人科教室

浜松花子、遠州太郎、天竜次郎

Department of Obstetrics and Gynecology, Hamamatsu University School  
of Medicine

Hanako HAMAMATSU, Taro ENSHYU, Jiro TENRHYU

キーワード： 、 、 、 、

概要

結果

緒言

方法









考察

結論

参考文献



## 静岡産科婦人科学会雑誌投稿時同封書類

平成 24 年 6 月 11 日改定

論文投稿時に同封してください

1. 投稿論文チェックリスト 2-3 頁
2. 著作権に関する届出書 4 頁
3. 利益相反自己申告書 5 頁

## 静岡県産婦人科学会雑誌投稿論文チェックリスト

表題： \_\_\_\_\_

筆頭著者名： \_\_\_\_\_

- 論文作成について（下記の項目について確認し、 内にチェックを入れて下さい。）
  - 原稿は、A4判論文書き込みフォーマット（ホームページよりダウンロード）に、MS明朝10.5ポイントで作成したか。
  - 論文構成は、表紙・概要・緒言・方法・成績・考察・文献になっているか。
  - 臨床研究、基礎研究の場合は緒言、方法、成績、考案、結論、図表の脚注、参考文献、図表の順に記載されているか。症例報告の場合は、緒言、症例、考察、結論順に記載されているか（原著以外はこの限りにない）。
  - 図表をカラム（左右二段組）の中に挿入し、原則として下段に「図1」、「表1」などと表記したか。（編集段階で適宜変更する事があります）
  - 図の説明（タイトルと解説文）、表を図表の下段に表記したか。
  - 本文、図の説明、表全体をクリップでとめたか。
  - 1ページに1図表としたか。図、表の挿入箇所は、原稿の欄外に記入したか
  - 文献の記載方法は適切であるか（文献番号は本文に引用した順序で、1）から記載する）。
    - 雑誌；引用番号）全著者名：表題．雑誌名．年号；巻数：頁-頁の順
    - 単行本；引用番号）著者名．書籍名．編者名 書籍名 所在地：発行所、発行年；頁-頁．の順
  - キーワード（5つ以内）はつけたか。
  - 表紙には、投稿種目、表題、所属機関名、著者名、キーワード（5つ以内）、所在地を記載し、著者名を英文で併記したか。
  - 本文中に（原則として「方法」の項）研究における倫理的配慮について記載したか  
臨床研究や治験に関する論文は倫理委員会・臨床受託研究審査委員会の承認を得た研究であることを明記したか。
  - 本文、図表に個人が特定される情報は含まれていないか。
  - 統計処理法を明記したか（原則として「方法」の項）。
  - 研究遂行や論文作成に関わるすべての助成、経済的支援等について記載したか。

2. 投稿直前のチェック（下記の項目について確認して、□ 内にチェックを入れて下さい。）

- 「論文投稿書」（カバーリングレター）に、次の項目を書いたか（様式自由）。
  - 投稿種目、表題
  - 著者名（和文および英文）、所属機関名、所在地、キーワード、E-mailアドレス
  - 図、表の枚数
  - 投稿論文の「表紙」に、投稿種目、論文名、筆頭著者名（氏名、所属、連絡先：電話番号、ファックス番号、メールアドレスなど）、共著者名を記載したか。
- 「投稿論文」3部を添付したか。
- A4判論文書き込みフォーマットのコラム（左右二段組）に図表を挿入したか
- 原稿は、正1部、副2部あるか
- 「静岡産科婦人科学会雑誌の著作権に関する届出書」を添付したか
- 「静岡産科婦人科学会雑誌投稿者の利益相反に関する自己申告書」を添付したか
  
- 以下は初回投稿では必要ない。論文受理後に最終原稿を投稿する時のみ必要
- 電子媒体（CD-R）に、本文および図表を保存したか
- パソコンの使用OS（Windows XP、Vista、Windows 7のみ）を、電子媒体に貼付した紙に記載したか
- 使用ソフトウェア名（マイクロソフトWord2002あるいは2007のみ）を、電子媒体に貼付した紙に記載したか
- 電子媒体（CD-R）を同封したか（不返却）

## 静岡産科婦人科学会雑誌の著作権に関する届出書

静岡産科婦人科学会会長 殿

雑誌名 静岡産科婦人科学会雑誌(仮称)

著作物名  
(論文名)

---

著者名  
(共同著者も含む)

---

1. 上記著作物が当該定期刊行物に掲載された場合の転載、翻訳、翻案、複製、譲渡及び公衆送信権(自動公衆送信の場合にあっては、送信可能化を含む)の権利を静岡産科婦人科学会(仮称)に譲渡します。
2. これらの諸権利の第三者への許諾は、学会によって行うことを了承します。

平成 年 月 日

筆頭著者名 (自著)

## 静岡産科婦人科学会雑誌投稿者の利益相反自己申告書

著作物（論文名） \_\_\_\_\_

著者名（共著者も含む） \_\_\_\_\_

平成    年    月    日    投稿者氏名（自署）

	金額	該当の状況	該当の有る場合、企業名等
役員・顧問職	100 万円以上	有り・無し	
株	利益 100 万円以上/全株式の 5%以上	有り・無し	
特許使用料	100 万円以上	有り・無し	
講演料など	50 万円以上	有り・無し	
原稿料など	50 万円以上	有り・無し	
研究費	200 万円以上	有り・無し	
その他報酬	5 万円以上	有り・無し	

## 静岡産科婦人科学会雑誌への投稿方法

- 1) 投稿規定
- 2) 電子ジャーナル用テンプレート
- 3) 投稿時同封書類

をダウンロードして、投稿原稿を作成してください。

### 原稿送付先

〒431-3192 浜松市東区半田山 1-20-1  
浜松医科大学 産科婦人科学教室内  
静岡産科婦人科学会雑誌編集部 宛

### 発行者

静岡産科婦人科学会

〒420-0839

静岡市葵区鷹匠 3 - 6 - 3、静岡県医師会館 6 階

電話：054-245-0134 / FAX：054-245-0143

メール：[nichibo-shizuoka@po2.across.or.jp](mailto:nichibo-shizuoka@po2.across.or.jp)